

第11ブロック 母親委員会便り

平成25年7月発行 第1号

担当: 清水袖師小学校

平成25年度 第11ブロック母親委員会の活動が始まりました。
母親として子どもたちの学校生活を支えるため、他の学校のお母様方と交流・情報交換し、
研修会・勉強会に参加していきます。

母親委員会

母親委員会は、静岡市PTA連絡協議会(市P連)の専門委員会の1つで、
静岡市内130校の小中学校が12のブロックに分かれて活動しています。

第11ブロック

東から、興津中、興津小、袖師中、袖師小、庵原中、庵原小、飯田中、飯田小、
飯田東小、六中、高部東小、高部小 の12校が第11ブロックになります。

[平成25年度 第11ブロック母親委員紹介]

興津中	青木 智子	興津小	石川 理恵
袖師中	白砂 多加子	袖師小	齊藤 祐子
庵原中	天野 佳子	庵原小	池田 敏江
	(副)村田 千恵		
飯田中	名倉 直子	飯田小	坂本 純子
六中	櫛引 雅子	飯田東小	岩井 史代
		高部東小	浅間 智代子
		高部小	大木 一世



[平成25年度 第11ブロック年間活動計画]

回	月日	活動内容	開催場所	開催時間
第1回	4月30日(火)	年間活動計画作成	庵原生涯学習交流館	19:00～
第2回	6月18日(火)	センター給食試食会	飯田東小学校	11:45～
第3回	7月17日(水)	性教育についての研修会	袖師生涯学習交流館	19:00～
第4回	10月 日()	赤ちゃんと中学生のふれあい交流会参観&給食試食会	庵原中学校	10:00～
第5回	12月 日()	防災についての講演会	第六中学校	未定
第6回	2月 日()	第11ブロック会長会・母親委員会合同研修会	未定	未定
第7回	3月 日()	新旧引き継ぎ、打ち合わせ	未定	未定

[活動報告]

センター給食試食会

6月18日(火) 飯田東小学校

飯田東小学校の給食は、中吉田学校給食センターから届けられています。このセンターでは、1日に1万食位の副食(おかず)のみを作り、ご飯・パンはパン業者、麺は麺業者、牛乳は牛乳業者が作って直接学校へ届けています。また、食物アレルギー対応食も実施しています。

試食会献立 : 牛乳 米飯 ふりかけ 鶏肉の吉野揚げ 即席漬け きのこ汁

～参加者の感想～

- ・自分自身、子どもの頃から自校式給食しか食べたことがなく、センター給食はおいしくないだろうと思っていましたが、今回試食させていただいたセンター給食は、温かくて量も適当で、とてもおいしかったです。栄養のバランスもきちんと考えられていて、このくらいおいしいのなら、センター給食でもいいなと思いました。
- ・センター給食は、中学校の給食と同じように、お弁当タイプの給食だと思っていました。いただいた給食は、冷めておらず、ちょうどよい温かさで、おいしくいただきました。
- ・子どもの頃のセンター給食のイメージは、「センター給食＝アルミ箔の器のご飯」で、それは独特のアルミ箔臭さがあり、美味しいとはいえないものでした。しかし、今回試食してみて、昔の嫌なイメージは全くなくなりました。ご飯もおいしく、きちんと器に盛られていて、マナーもしっかりできると思いました。おかずもとても温かく、センター給食もすばらしいなと思いました。

- ・試食後のセンターの方のお話は、もう一度家庭の食事を見直す良い機会となりました。校長先生がおっしゃっていた「食べたものが体を作る！」という言葉を中心に、毎日の食事を少しずつでも改善できればと思いました。
- ・センターの方々、自校式給食のように子どもの顔が直接見えない分、できる限りの心配りと愛情を持って給食を作ってくださっていることがわかりました。心のこもった温かい給食でした。
- ・栄養士さんの話がよかったです。朝食の大切さはわかっていたのですが、バランスの良い朝食がどれだけよいのか、数字で見てしまうと、これからはきちんとした朝食を作らなければと思いました。

かっぱれフラメンコ講習会 6月21日(金) 興津生涯学習交流館

今年お披露目の新しいかっぱれの講習会が興津小学校PTAで開催され、母親委員会からも自由参加で参加させてもらいました。

とても熱心なご指導で、子どもから大人までみなさん本当に一生懸命でした。参加した方からは、親子でとても楽しく練習ができたと大好評でした。

性教育についての研修会 7月17日(水) 袖師生涯学習交流館

「家庭で伝えるいのちのはなし

—— 子どもたちの体と心を守るために ——

講師：誕生学アドバイザー 滝 和子先生

子どもたちを取り巻く社会の状況を知り、日々の生活の中で、健康な性意識を育むために親が子どもにできることは何かを考えました。

～参加者の感想～

- ・命をお米一粒で感じる事ができて面白かったです。お腹の中の話は自分と子どもに置き換えて聞いて、改めて命を大切にしないといけないと思いました。生きる力は神秘的です。思春期の子どもに、責任ある行動がとれるよう話したいと思いました。
- ・いつかは子どもに説明する時が来ることはあると思っていましたが、言葉を選び、態度も真摯に子どもと向き合って話すことの大切さを教わりました。我が子は仮死状態で生まれ、生後3ヶ月でウイルス感染にかかり生死をさまよいました。ですから、我が家では、誕生日には生まれた日の事を話すようにしています。今回は、改めて親に感謝し、子どもたちにも大きく成長してくれたことに幸せを感じました。
- ・学生の時以来、このような性、命についての教育を学ぶ機会はありませんでした。いろいろな情報やTVドラマ等でも子どもたちの目に簡単に情報が入ってくる世の中、子どもたちの体が昔よりも急速に成長し、それに反して心の成長が乏しいように思われました。最初は米粒の大きさであった一つの大切な命が成長し、人間として生まれてくることは本当に神秘的です。昔も今も変わることのない人間としての大切なことは、やはり愛情です。我が子の大切な心と体を自分自身で守れる力、まわりの人たちの心と体を大切にする力を育てていくことが、これからの命のバトンにつながっていくことを学びました。
- ・子どもが小さい頃、赤ちゃんはどこから生まれてくるのと聞かれたことがありました。帝王切開での出産でしたが、子どもたちは感動しながら聞いてくれたのを思い出しました。現在、思春期、反抗期の真っ只中の子どもたちに、カリカリしがちですが、①いいね、②有り難う、③ごめんね、の3つを意識して実践したいと思いました。
- ・思春期の子どもへの接し方、参考になりました。子どもにごまかしは効きません。子どもとのコミュニケーションを大切に、聞かれたら恥ずかしながら、堂々とロマンティックに答えられるようにしたいと思います。
- ・自分たちの頃よりも早熟な現代の子どもたちに驚かされました。性について、どのように子どもたちに話をしていけばよいか、悩むところですが、今回のお話を聞いて、さりげなく性に関する本を置いてみようと思いました。また、子どもが聞いてきた時には、答えられるように準備しようと思います。
- ・性の話は、まだしっかりと子どもと向き合って話す機会がなかったので、大変参考になりました。曖昧にせず、聞かれたらしっかり答えようと思います。また、出産に関してマイナスイメージを持つような話はよくないということを心にとめておこうと思いました。
- ・性に関して、誤った情報、歪んだ知識にさらされている子どもたちに、健康な性意識を育むことができるのは、家庭だということを改めて実感しました。ロマンティックに正しいことを伝えられるように意識しながら、子どもと接していきたいと思いました。